



コワバ博士とミルメちゃんの  
**知ぶかなク茶**

ミサイル飛来や津波の到達で大きな被害が予想されるとき、国が自治体を通じて国民に情報を伝える仕組みが「全国瞬時警報システム」(Jアラート)というんだ。2007年に運用が始まって、8月29日、北朝鮮によ

ぜんこくしゅんじけいほう  
「全国瞬時警報システム  
(Jアラート)」って何？

るミサイル発射で実際に使われたんだよ。

情報は防災行政無線や電子メールで住民に伝達。ミサイルの場合は、発射時、日本の領土や領海の通過時、落下時に専用サイレンが鳴り、「じょうぶな

建物や地下に避難を」「屋内では窓からはなれて」と伝えるけれど、避難場所がない場合はどうすればいいのかとの声も聞かれたんだよ。

8月29日のケースでは、機器の設定や配線ミスで情報が届かないトラブルも相次いで、総務省消防庁は原因をくわしく調べて、再発防止につなげたいとしているんだ。



2017年9月10日 朝刊 YOMOっと静岡

①全国瞬時警報システムの略称を書きましょう。

[ ]

②全国瞬時警報システムを使うケースを2つ書きましょう。

[ ]  
[ ]

③全国瞬時警報システムは、どんな方法で住民に情報を伝えますか。

[ ]

年 組 名前

(総合・学活 小学校高学年・中学校・高校)